

蒟醬

南藤葉萋藤葉ソノ形ハ能似タレドモ、脈理ハ大ニ異ナリ、

〔多識編二〕草〔蒟醬末。多。多。比。今案安南在之日本無之、

〔和爾雅七〕草木〔蒟醬キンマ變語也、蒟子、
土華茛並同、

〔重修本草綱目啓蒙九〕草〔蒟醬キンマ一名萋通雅萋葉八閩通志相思葉廣東新語辛蒟雅通

蒟給同上無留藤本草芙蓉泉州府志萋葉藤廣東萋藤一統志

嶺南ニテハ此葉ニ生ノ檳榔子ト蚌灰トヲ包ミテ果ニ充テ食フ、コレヲ入ル、器ヲ桂海虞衡志

ニ檳榔合ト云、茶家者流ニテキンマデノ香合トテ弄ブモノ是ナリ、一器三室ノモノアリ、又三層

ニシテ香撞ノ如キモノアリ、皆外ニ細ナル描花アリ、享保年中ニ、此葉ニテ檳榔ト蚌灰トヲ包ミ、

蜜漬ニシタルモノ渡ル、ソノ葉ノ形秋海棠ノ葉ノ如シ、即今フウトウカヅラト呼モノナリ、コレ

ハ四國九州豆州紀州海濱ノ崖ニ蔓延シテ生ズ、葉ハ莢菜葉ドクダミニ似テ厚ク互生シ、深綠色ナリ、切レ

バ胡椒ノ香有リ、故ニ世人胡椒或ハ華茛ナリトス、並ニ非ナリ、京師ニテハ冬月窖ニ入レザレバ

枯ル、四月葉間ニ細キ穗ヲ生ズ、長サ一寸餘、細小白花ヲ開ク、子ハ粟々トシテ穗ヲナス、長サ一二

寸、子ハ椒目ノ大サノ如シ、外ニ薄皮アリ、色赤シ、内ニ粟殼色ノ硬殼アリ、ソノ肉ニ仁アリ、色白シ、

コレヲ嚼メバ味淡ニシテ微辛ク、香氣華茛ニ近シ、先年蠻人ニ見セシニ胡椒ナリト云、然レドモ

形色氣味胡椒ニ異ナリ、即土萋藤ニシテ蒟醬ノ下品ナリ、夏以後節ゴトニ根鬚ヲ生ズ、土中ニ入

ルモノハ鬚多クナリ、土ニ遠ケレバ鬚一條ノミ、故ニ節ゴトニ切レバ、皆分チ栽ベシ、葉大サ二寸

許リ、或ハ四五寸、長葉アリ、圓葉アリ、土萋藤一名山萋藤廣東新語

〔増補地錦抄六〕蘭のるひ略○中

茶蘭ちやらん葉は仙蓼せんりやうニ紛ばかり似て、草立も毛頭違ず、花形は蓼の穂に少似て黄色なり、盛の時分は、

異香ことくく室内ニ薰香する事、大蘭にこへたり、

茶蘭